



平成 29 年 5 月 23 日
 (一社) 全国漁業就業者確保育成センター
 担当： 馬上
 電話： 03-5545-1617
 メール： info@ryoushi.jp

“どうやったら漁師になれるんですか？” その疑問にお応えします！

漁師の仕事がまるごとわかる就業相談会 in 福岡・東京・仙台・大阪

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区)では、漁業や漁師の魅力を知らせてもらうとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取組の一環として、「漁業就業支援フェア『漁師の仕事！まるごとイベント』」を開催しております。

このたび、2017 年の第 1 弾フェアとして、**福岡 (6 月 24 日)**、**東京 (7 月 9 日)**、**仙台 (7 月 15 日)**、**大阪 (7 月 22 日)** で開催することとなりました。

【開催概要】

開催地	開催日時	会場	出展予定 ブース
福岡	6 月 24 日(土)12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	福岡ビル 9 階大ホール (福岡市中央区天神 1-11-17)	25 ブース
東京	7 月 9 日(日)12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	ベルサール渋谷ファースト 2 階イベントホール (渋谷区東 1-2-20)	50 ブース
仙台	7 月 15 日(土)12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	イベントホール松栄 6 階 A ホール (仙台市宮城野区榴岡 1-2-8)	15 ブース
大阪	7 月 22 日(土)12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)	大阪マーチャングイズマート (OMM ビル) 2 階 A・B ホール (大阪市中央区大手前 1-7-31)	40 ブース

* 出展ブース数は変更になる場合があります。出展団体情報は順次「漁師.JP」で確認いただけます。

◇参加条件: 漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。
 未経験者・家族連れ歓迎 / 参加費無料 / 事前の参加申込み不要(当日会場へ来場ください)
 / 履歴書不要 / 服装自由 / 入退場自由

◇主催: 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援: 水産庁

ライフスタイルの多様化などにより、若い世代の働き方や暮らし方が変化する中、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。一方で、国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化により、次世代の担い手が不足しています。このような状況の中、「漁師になりたい・興味がある」人と「新たな担い手を求める」漁協や漁業会社が出会う場である漁業就業支援フェアは年々注目を集めています。これまでに、フェア来場がきっかけとなり漁師への第一歩を踏み出した人もいます。また、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得て、その後漁業就業が選択肢のひとつとなった人もいます。

本フェアは 10 年以上続いているイベントで、今年は、福岡、東京、仙台、大阪の 4 都市で開催します。

【問合せ先】

- ◇(一社) 全国漁業就業者確保育成センター 電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00
- ◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>
- ◇主催: 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援: 水産庁

■「漁業就業支援フェア 2017」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果をもとに、フェア終了後、出展団体の研修候補生に採用されるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について学べる「ガイダンスコーナー」の他、新企画として、将来の就職先のひとつに漁業を考えている学生などビギナー向けの「セミナー・相談コーナー」、漁具等の展示物を見て触って漁業を体感する「展示コーナー」などを予定しています。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスのものであり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



漁業就業支援フェア 2017 ポスターカット

■注目集める「漁業就業支援フェア」

昨年の「漁業就業支援フェア 2016」は3都市で開催し、600名を超える就業希望者の来場がありました。なかでも3月の東京会場では過去二番目に多300名以上の方が来場し、熱心に情報収集をする姿が見られるなど、漁業就業への関心の高さを証明する結果となりました。

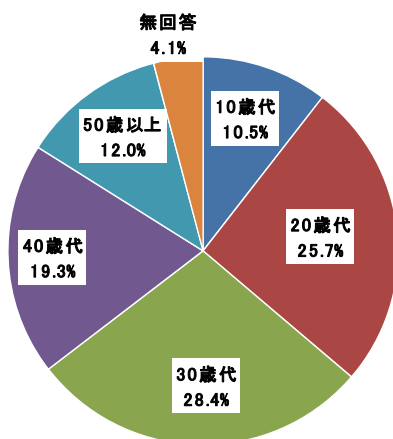
(参考)漁業就業支援フェア 2016 の実績

会場	東京	大阪	福岡	計
開催日	2016年 3月5日(土)	2016年 3月12日(土)	2016年 7月16日(土)	-
出展団体数	68団体	20団体	52団体	-
来場者数 ※同伴者をのぞく	372人	173人	107人	652人

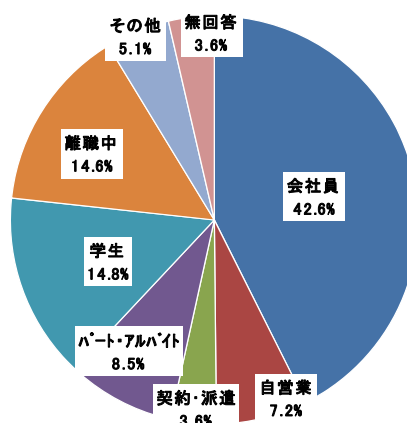
(参考)漁業就業支援フェア 2016 の実績

* 2016年フェア 来場者アンケート結果より

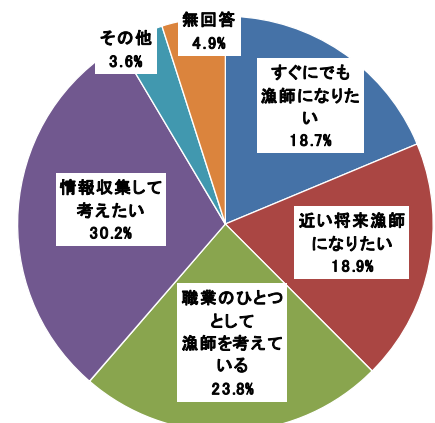
【来場者の年齢層】



【来場者の職業】



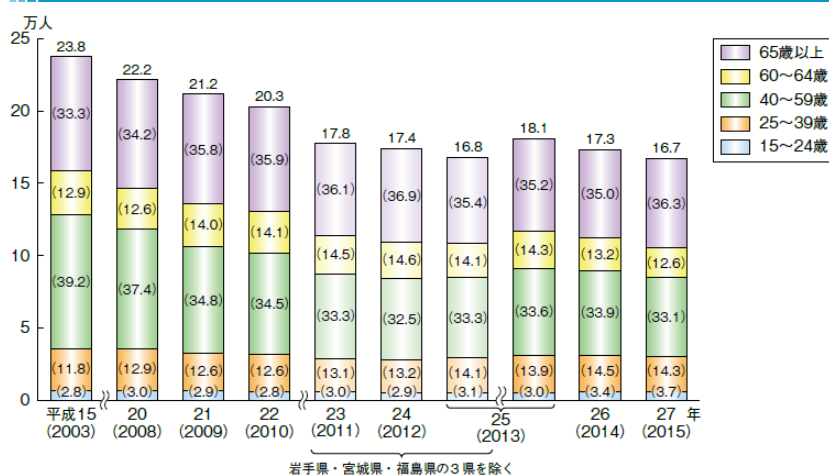
【漁業就業に対する考え】



■漁業就業者数の動向

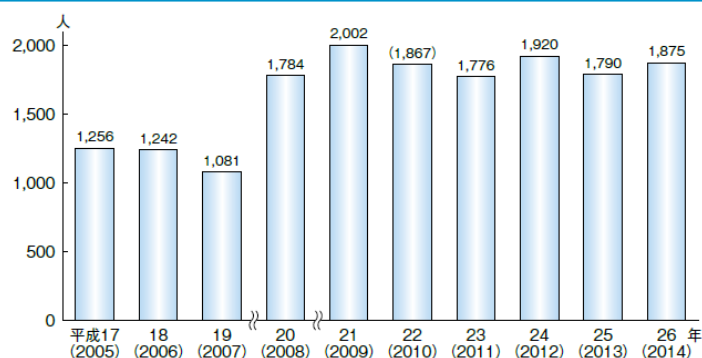
平成15年に約24万人であった漁業就業者数は、平成27年には約17万人へと減少、また、高齢化率は36.3%と平成15年以降高い水準で推移しています。一方、支援施策などにより、新規で就業する人は、平成20年度以降一定数存在するという状態が続き、平成26年には1,875人が就業しています。こうした近年の動向を受け継ぎ、日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどが重要です。

図Ⅱ-2-9 漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」（平成15（2003）年、20（2008）年及び25（2013）年）、「漁業就業動向調査」（平成21（2009）～24（2012）年、26（2014）年及び27（2015）年）
 注：1）「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者。
 2）（ ）内は漁業就業者の会計を100%とした構成割合（%）である。
 3）平成20（2008）年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市町村に居住している者を含んでおり、2003年漁業センサスとは連続しない。
 4）平成23（2011）年、24（2012）年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県を除く集計である。

図Ⅱ-2-10 新規漁業就業者数の推移



資料：平成17（2005）～19（2007）年は（一社）大日本水産会による漁業協同組合へのアンケート調査結果、平成20（2008）年は農林水産省「漁業センサス」、平成21（2009）～26（2014）年は都道府県が実施している新規就業者に関する調査から推計
 注：1）調査が異なるため、平成19（2007）年と20（2008）年、平成20（2008）年と21（2009）年の結果は連続しない。
 2）平成22（2010）年は、東日本大震災により岩手県、宮城県及び福島県の調査が実施できなかったため、21（2009）年の新規就業者数を基に、3県分を除いた全国のすう勢から推計した値を用いた。

資料：平成27年度水産白書

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当：馬上

電話：03-5545-1617（平日 10:00～17:00（土・日・祝日除く）） e-mail info@ryoushi.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushi.jp> 【twitter】@ryoushi_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。